

漢字ドリル

漢検 準2級

第44巻

練習＋問題

読み、書き、くり返し。



35字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

炉 炊 炎 焦 牲 犧

練習してから、問題に挑戦

本文 47ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com



じゅん2きゅう 44かん たんい1 れんしゅ
う (1)

なまえ



炊

炊

訓

た
(く)

音

スイ

・炊事 すいじ
・自炊 じすい
・炊く たく

部首

炊 ひへん

8画

炉

炉

音

ロ

・香炉 こうろ
・原子炉 げんしろ
・暖炉 だんろ

部首

炉 ひへん

8画

焦

焦

訓

あせ
こ(がれる)
こ(がす)
こ(げる)
シヨウ

音

・焦げる こげる
・焦点 しょうてん
・焦る あせる

部首

焦 れんが

12画

炎

炎

訓

ほ
のお

音

エン

・炎上 えんじょう
・炎天下 えんてんか
・肺炎 はいえん

部首

炎 ひ

8画





じゅん2きゅう 44かん たんい1 れんしゅ
う (2)

なまえ



儀

儀

音

ギ

・儀者
ぎせいしゃ
・儀飛
ぎひ
・儀牲
ぎせい

部首
儀 うしへん 17画

牲

牲

音

セイ

・儀牲
ぎせい
・儀牲打
ぎせいだ
・自己儀牲
じこぎせい

部首
牲 うしへん 9画

光

光

訓

音

ひかり
ひか(る)
コウ

・光線
こうせん
・日光
にっこう
・光る
ひかる

部首
光 ひとあし 6画

亜

亜

音

ア

・亜流
ありゅう
・亜鉛
あえん
・白亜紀
はくあき

部首
亜 に 7画





じゅん2きゅう 44かん たんい1 よみのれ
んしゅう2

なまえ



炊	炊	炉	炉	焦	焦
	訓 た (く)		音 口		訓 あせ (る)
	音 スイ		音 口		音 シヨウ
	・ 炊事 すいじ		・ 香炉 こうろ		・ 焦点 しょうてん
	・ 自炊 じすい		・ 原子炉 げんしろ		・ 焦がれる こがれる
	・ 炊く たく		・ 暖炉 だんろ		・ 焦がす こがす

部首
炊 ひへん 8画

部首
炉 ひへん 8画

部首
焦 れんが 12画





じゅん2きゅう 44かん たんい1 A

なまえ



/ 14

5

点検で

原子^{げんし}

を止める

4

沖縄は

熱^{ねっ}帯^{たい}

の気候だ

3

鉄板の表面に

鉛^{えん}

をめっきする

2

かぜをこじらせて

肺^{はい}

になる

1

洋館の居間で

暖^{だん}

の火が燃える

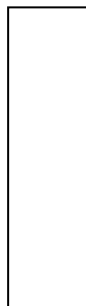
10

夏の夜にほたるが光る



9

環境を犠牲にした開発を見直す



8

結果を焦るあまり無理をする



7

毎朝家族のご飯を炊く



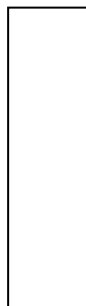
6

天^{てん}下^か

の練習で汗をかく

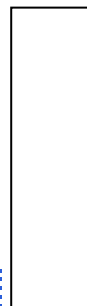
14

送りバントの犠牲打で走者を進める



13

たき火の火の粉で服が焦げる



12

議論の焦点がずれる



11

下宿先で毎日自炊する





じゅん2きゅう 44かん たんい1 A-2

なまえ



/ 13

5

SNSの発言が



えん

上

じょう

する

4

寺の

香

こう



ろ

から煙が立ち上る

3

ベンガルトラはトラの



あ

種

しゅ

だ

2

有名画家の



あ

流

りゅう

にとどまる作品

1

品質を

儀

ぎ



せい

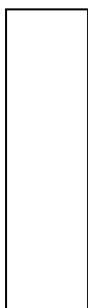
にして値段を下げる

10

朝の

日光

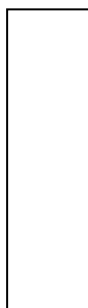
をあびて目をさます



9

都会の暮らしに

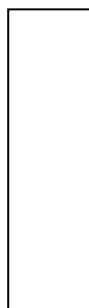
焦がれる



8

虫眼鏡で日光を集めて紙を

焦がす



7

儀

ぎ



せい

打

だ

で勝ち越す

6

口

こう

内

ない



えん

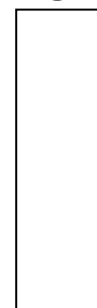
ができて痛い

13

冷めた風呂を

追い炊き

する

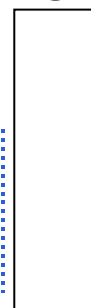


12

被災地で

炊き出し

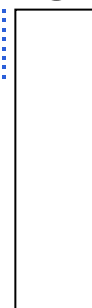
が行われる



11

月光

が海をたっている





じゅん2きゅう 44かん たんい1 B

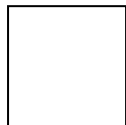
なまえ



/ 14

5

古い



すい

飯器

を買い替える

4

夜のまどから

月



こう

がさしこむ

3

ふとんに

日



こう

を当ててほす

2

議論の



しょう

点

がずれる

1

下宿先で毎日

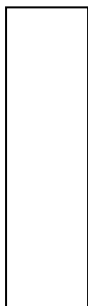
自



すい

する

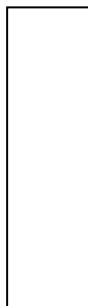
10

恐竜が栄えた
白亜紀

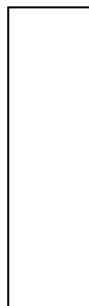
の地層を調べる

9

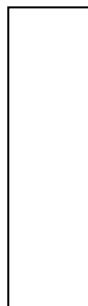
品質を犠牲にして値段を下げる



8

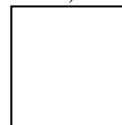
かぜをこじらせて
肺炎になる

7

洋館の居間で
暖炉の火が燃える

6

結果が出ず



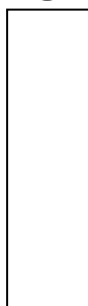
しょう

燥

の色を隠せない

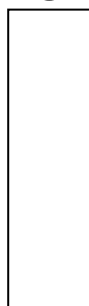
14

交通事故の犠牲者を減らす取り組み



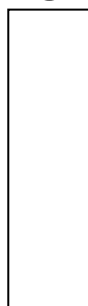
13

真夏の炎暑が続く



12

製鉄所の高炉に火が入る



11

ヒット作の亜流が次々に現れる





じゅん2きゅう 44かん たんい1 B-2

なまえ

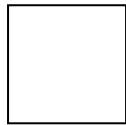


/ 14

5

鍋の残りのだして

雑



を作る

4

林間学校で



事

の係になる

3

外国の人が

観



に来る

2

ヒーローが手から

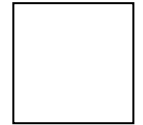


線

を出す

1

環境を



牲

にした開発を見直す

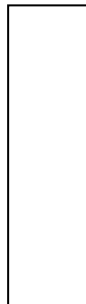
10

亜麻色の長い髪が風になびく



9

北海道の大部分は亜寒帯に属する



8

九回に

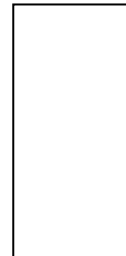


飛

で一点を返す

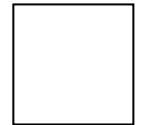
7

たき火の火の粉で服が



6

戦争で町が

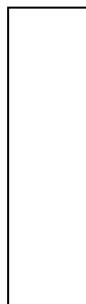


土

と化した

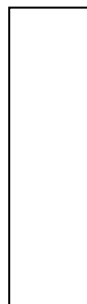
14

中耳炎で熱が出た



13

炎熱の砂漠をラクダで進む



12

学校の焼却炉は今では使われていない



11

古民家の囲炉裏で魚を焼く





じゅん2きゅう 44かん たんい2 れんしゅ
う (1)

なまえ



獄

獄

音

ゴク

・投獄 とくごく
・監獄 かんごく
・地獄 じごく

部首 けものへん 14画

獺

獺

音

リヨウ

・密獺 みつりょう
・獺師 りょうし
・狩獺 しかりょう

部首 けものへん 11画

畔

畔

音

ハン

・池畔 ちはん
・河畔 かはん
・湖畔 こはん

部首 たへん 10画

甲

甲

音

カン コウ

・甲高い かんたかい
・装甲 そうこう
・甲板 かんばん

部首 甲 5画



じゅん2きゅう 44かん たんい2 れんしゅ
う (2)

なまえ



疾

疾

音

シツ

・眼 疾 がんしつ
・疾 風 しつぷう
・疾 走 しつそう

部 首
疾 やまいだれ 10 画

畜

畜

音

チク

・畜 舎 ちくしゃ
・牧 畜 ぼくちく
・家 畜 かちく

部 首
畜 た 10 画

注

注

訓

そそ (ぐ)

音

チュウ

・注 文 ちゅうもん
・注 意 ちゅうい
・注 水 ちゅうすい

部 首
注 さんずい 8 画

里

里

訓

さと

音

リ

・山 里 やまさと
・古 里 ふるさと
・里 さと

部 首
里 さと 7 画





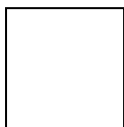
じゅん2きゅう 44かん たんい2 A

なまえ



/ 16

6



かん

高い

声で笑う

5

山で



りょう

師

のわなを見つける

4

祖父の

古

ふる



さと

は雪国だ

3

家

か



ちく

の伝染病が広がる

2

船の



かん

板

に出る

1

縄文人は

狩

しゅ



りょう

と採集で暮らした

12

プールそうじのあとで

注水

をはじめる

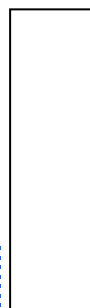


11

新幹線が田園地帯を

疾走

する



10

湖畔

の家で小説を書く



9

温泉地の地獄

めぐりを楽しむ



8

雪がとけて

山

やま



ぜと

に春が来る

7

草原で

牧

ぼく



ちく

を営む民族

16

全力疾走

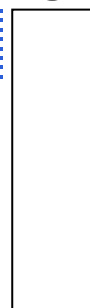
でゴールに飛び込む



15

湖畔

の宿で夏を過ごす

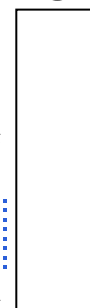


14

政界を揺るがす

疑獄

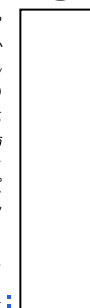
が起きた



13

やかんのお湯をポットに

注ぎこむ





じゅん2きゅう 44かん たんい2 B

なまえ



/ 16

6

明治の

監かん



が博物館になった

5

電話でピザを

文もん
する

4

こおった道で足元に

意い
する

3

新幹線が田園地帯を

走そう
する

2

湖こ



の家で小説を書く

1

温泉地の

地じ



めぐりを楽しむ

12

秋になると里の祭りでおみこしが出る



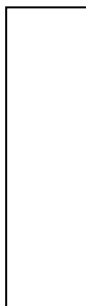
11

家畜の伝染病が広がる



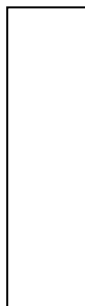
10

船の甲板に出る



9

縄文人は狩猟と採集で暮らした



8

春の



風ふう

が木々を揺らす

7

セーヌの

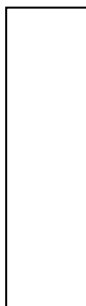
河か



を散歩する

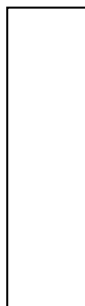
16

古里の友達から手紙がとどく



15

昔は牛や馬の畜力で田畑を耕した



14

この森は禁猟区に指定されている



13

戦車は厚い装甲で守られている



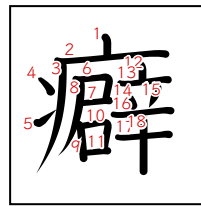


じゅん2きゅう 44かん たんい3 れんしゅ
う (1)

なまえ



癖

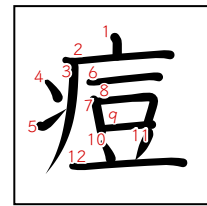


訓	音
くせ	ヘキ

・寝癖 (ねぐせ)
・口癖 (くちぐせ)
・潔癖 (けつぺき)

部首	やまいだれ	18画
癖		

痘

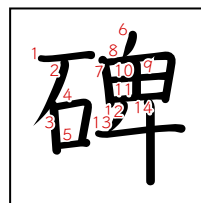


音
トウ

・鶏痘 (けいとう)
・水痘 (すいとう)
・種痘 (しゅとう)

部首	やまいだれ	12画
痘		

碑

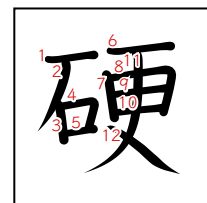


音
ヒ

・碑文 (ひぶん)
・記念碑 (きねんひ)
・石碑 (せきひ)

部首	いしへん	14画
碑		

硬



訓	音
かた(い)	コウ

・硬球 (こうきゅう)
・硬貨 (こうか)
・硬い (かたい)

部首	いしへん	12画
硬		





じゅん2きゅう 44かん たんい3 れんしゅ
う (2)

なまえ



社

音 シ
・ 社会 しゃかい ・ 福祉 ふくし ・ 福祉国家 ふくしこっか
部首 社 しめすへん 8画

礎

訓 いしずえ	音 ソ
・ 礎石 そせき ・ 基礎 きそ ・ 礎 いしずえ	
部首 礎 いしへん 18画	

英

音 エイ
・ 英文 えいぶん ・ 英国 えいこく ・ 英語 えいご
部首 英 くさかんむり 8画

努

訓 つと(める)	音 ド
・ 努力賞 どりよくしょう ・ 努力家 どりよくか ・ 努力 どりよく	
部首 努 ちから 7画	





じゅん2きゅう 44かん たんい3 A

なまえ



/ 16

6

子供のころに

水^{すい}

にかかった

とう

5

兄はとても

力^{りよく}
家^か
だ

ど

4

ピアノの練習で

力^{りよく}
を重ねる

ど

3

練習で

基^き

をしっかりと固める

そ

2

お札と



こう

貨^か

を分けて数える

1

ジェンナーが

種^{しゅ}

を広めた

とう

12

アメリカの人と英語で話す



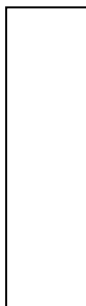
11

高齢者の福祉に力を入れる



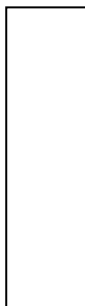
10

古戦場の跡を石碑が伝える



9

お金に潔癖な政治家



8

寺の跡に



そ

石^{せき}

だけが残っている

7



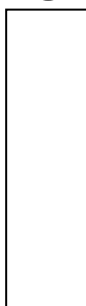
こう

球^{きゅう}

が当たって痛い

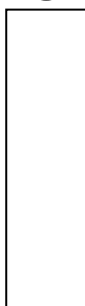
16

空港で英語のアナウンスが流れる



15

福祉施設でボランティアをする



14

戦国武将の墓碑を訪ねる



13

父の口癖は早寝早起きだ





じゅん2きゅう 44かん たんい3 B

なまえ



/ 16

6

校庭に

記念

が建つ

5

父の

口

ぐせ

は早寝早起だ

4

アメリカの人と

えい

語
で話す

3

高齢者の

福

し

に力を入れる

2

古戦場の跡を

石

ひ

が伝える

1

お金に

潔

べき

な政治家

12

ピアノの練習で
努力を重ねる

ひ

11

この発見が通信技術の
礎となった

礎

10

緊張して表情が
硬い

硬い

9

ジェンナーが種痘
を広めた

痘

8

えい

国

の首都はロンドンだ

7

福

し

国家

を目指す

16

天然痘
は人類が根絶した感染症だ

しょう

15

読みやすい字を書くように
努める

努める

14

練習で基礎
をしっかりと固める

基礎

13

お札と硬貨
を分けて数える

硬貨





じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 A

なまえ



/ 24

8

練習で

基

そ

をしっかり固める

7

お札と

貨

こう

を分けて数える

6

ジェンナーが

種

とう

を広めた

5

家

ちく

の伝染病が広がる

4

船の

板

かん

に出る

3

縄文人は

狩

りょう

と採集で暮らした

2

かぜをこじらせて

肺

えん

になる

1

洋館の居間で

暖

ろ

の火が燃える

16

温泉地の地獄めぐりを楽しむ

15

環境を犠牲にした開発を見直す

14

結果を焦るあまり無理をする

13

毎朝家族のご飯を炊く

12

沖縄は

あ

熱帯

の気候だ

11

ピアノの練習で

と

力

りよく

を重ねる

10

祖父の

古

さと

は雪国だ

9

鉄板の表面に

あ

鉛

をめっきする

24

アメリカの人と英語で話す

23

プールそうじのあとで注水をはじめる

22

夏の夜にほたるが光る

21

高齢者の福祉に力を入れる

20

古戦場の跡を石碑が伝える

19

お金に潔癖な政治家

18

新幹線が田園地帯を疾走する

17

湖畔の家で小説を書く





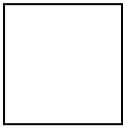
じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 A-2

なまえ



/ 24

8



えん

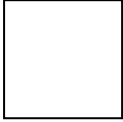
天下

の練習で汗をかく

7

寺の

香



ろう

から煙が立ち上る

6

点検で

原子



ろ

を止める

5

作文で



ど

力賞

をもらう

4

兄はとても



ど

力家

だ

3

ペンガルトラはトラの



あ

種

だ

2

有名画家の



あ

流

にとどまる作品

1

品質を

儀



せい

にして値段を下げる

16



やかんのお湯をポットに注ぎこむ

15

月光

が海をてらしている

14

朝の日光

をあびて目をさます

13



かん

高い

声で笑う

12

ゾウの密



りょう

が後を絶たない

11

山で



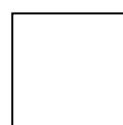
りょう

師

のわなを見つける

10

儀



せい

打

で勝ち越す

9

SNSの発言が



えん

上

する

24



無実が証明されて出獄した

23

政界を揺るがす

疑獄

が起きた

22

送りバントの

儀

打て走者を進める

21

落雷で大木が

黒焦げ

になった

20

フライパンの

焦げ付き

を落とす

19

冷めた風呂を

追い炊き

する

18

被災地で

炊き出し

が行われる

17

店員さんがテーブルで

注文

をきく





じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 B

なまえ



/ 24

8

高齢者の

福ふく

に力を入れる

7

古戦場の跡を

石せき

が伝える

6

お金に

潔けつ

な政治家

5

新幹線が田園地帯を

走そう

する

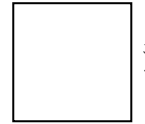
4

湖こ

の家で小説を書く

3

温泉地の

地じ

めぐりを楽しむ

2

議論の

点てん

がずれる

1

下宿先で毎日

自じ

する

16

船の甲板に出る



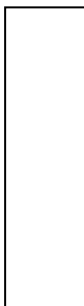
15

縄文人は狩猟と採集で暮らした



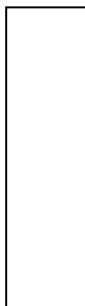
14

品質を犠牲にして値段を下げる



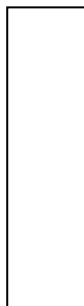
13

かぜをこじらせて肺炎になる



12

洋館の居間で暖炉の火が燃える



11

アメリカの人と

語ご

で話す

10

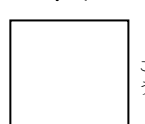
こおった道で足元に

意い

する

9

ふとんに

日にっ

を当ててほす

24

ヒット作の亜流が次々に現れる



23

ピアノの練習で努力を重ねる



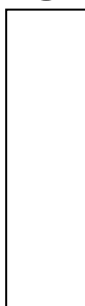
22

秋になると里の祭りでおみこが出る



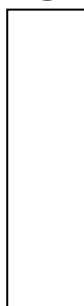
21

恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる



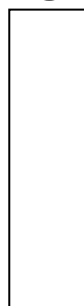
20

この発見が通信技術の礎となった



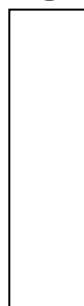
19

緊張して表情が硬い



18

ジェンナーが種痘を広めた



17

家畜の伝染病が広がる





じゅん2きゅう 44かん ふりかえり3 B-2

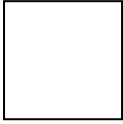
なまえ



/ 24

8

結果が出ず



しょう

燥

の色を隠せない

7

銅の残りのだして



すい

雑

を作る

6

林間学校で



すい

事

の係になる

5

転校生がクラスの



ちゅう

目

を集める

4

電話でピザを



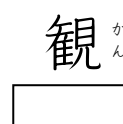
ちゅう

文

する

3

外国の人が



こう

観

に来る

2

ヒーローが手から



こう

線

を出す

1

環境を



せい

牲

にした開発を見直す

16

毎日の努力が実を結ぶ



15

読みやすい字を書くように努める



14

亜麻色の長い髪が風になびく



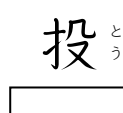
13

北海道の大部分は亜寒帯に属する



12

反乱を企てた罪で



ごく

投

される

11

明治の



ごく

監

が博物館になった

10

九回に



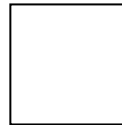
ぎ

飛

で一点を返す

9

戦争で町が



しょう

土

と化した

24

甲骨文字を博物館で見ると



23

夏の甲子園をめざして練習する



22

猟友会がクマの見回りをする



21

この森は禁猟区に指定されている



20

真夏の炎暑が続く



19

炎熱の砂漠をラクダで進む



18

学校の焼却炉は今では使われていない



17

古民家の囲炉裏で魚を焼く





じゅん2きゅう 44かん たんい4 れんしゅ
う (1)

なまえ



穂

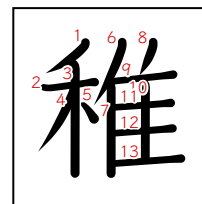


訓	音
ほ	スイ

・穂 いなほ
・出穂 しゅつすい
・穂 ほ

部首	のぎへん	15画
穂		

稚



音
チ

・稚 ちぎ
・稚 ちがい
・幼 ちようち

部首	のぎへん	13画
稚		

穫



音
カク

・収穫 しゆうかく
・収穫祭 しゆうかくさい
・収穫 しゆうかく

部首	のぎへん	18画
穫		

穂



訓	音
おだ(やか)	オン

・穂 へいおん
・穂 おだやか
・穂 おんぴん

部首	のぎへん	16画
穂		





じゅん2きゅう 44かん たんい4 れんしゅ
う (2)

なまえ



符



音

フ

・ 終止符 しゅうしふ
・ 符合 ふごう
・ 符号 ふごう

部首
符 たけかんむり 11画

窒



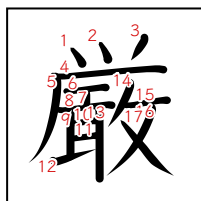
音

チツ

・ 窒化 ちつか
・ 窒息 ちいき
・ 液体窒素 えきたいちつそ

部首
窒 あなかんむり 11画

嚴



訓

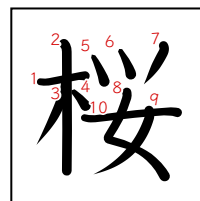
音

おごそ ぎび ゴン ゲン
(か) (しい)

・ 嚴守 げんしゅ
・ 嚴重 げんじゅう
・ 嚴か おごそか

部首
嚴 つかんむり 17画

桜



訓

音

さくら オウ

・ 夜桜 よざくら
・ 山桜 やまざくら
・ 桜 ざくら

部首
桜 きへん 10画





じゅん2きゅう 44かん たんい4 A

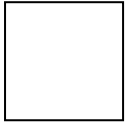
なまえ



/ 16

6

干潟にアサリの

貝
をまく

5

家族で公園の

夜



を見に行く

4

遠くの山に

山



がさいている

3

煙で



息

しないよう低く逃げる

2

事件もなく

平



な一日だった

1

考え方が

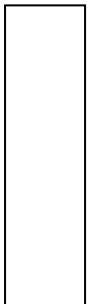
幼



だと言われる

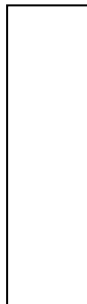
12

本堂は厳かな空気に包まれる



11

モールス符号で救助を求める



10

農家が田んぼの米を収穫する



9

アワの穂を小鳥のえさにする



8



化

ガリウムで青く光るLED

7

もめごとを



便

に済ませる

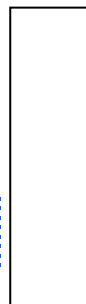
16

文の終わりに疑問符を付ける



15

修学旅行で得た収穫は大きい



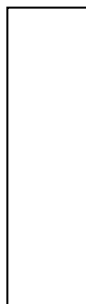
14

台風に合わせて窓を厳重に閉める



13

猛暑の影響で稲の出土が例年より早い





じゅん2きゅう 44かん たんい4 B

なまえ



/ 16

6

農家が神前に

初^{はつ}

をささげる

5

遠足の集合時間を

守^{しゅ}

する

4

銀行は

重^{じゅう}

に守られている

3

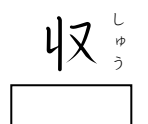
モールス

号^{ごう}

で救助を求める

2

農家が田んぼの米を

収^{しゅう}

する

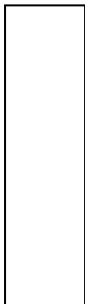
1

実るほど頭を垂れる

稲^{いな}

かな

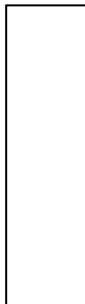
12

入学式の日に校庭の桜^{さくら}がさく

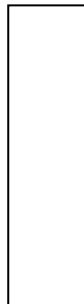
11

煙で室^{むろ}息^{いき}しないよう低く逃げる

10

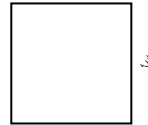
事件もなく平^{へい}穩^{えん}な一日だった

9

考え方が幼^{よう}稚^ちだと言われる

8

二人の証言が

合^{ごう}

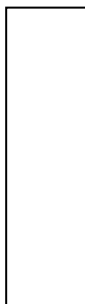
する

7

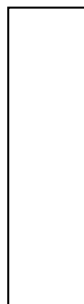
村の収^{しゅう}祭^{さい}

に参加する

16

空気の約八割は室^{むろ}素^そでできている

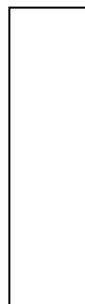
15

水族館の水そうでふ化した稚^ち魚^{ぎょ}が泳ぐ

14

ハイキングの道で山^{さん}桜^{さくら}の花を見つける

13

今日の海は波もなく穏^{おだ}やかだ



じゅん2きゅう 44かん たんい5 れんしゅ
う (1)

なまえ



簿

簿 (19 strokes)

音
ボ

簿記 (ボキ)
名簿 (メイボ)
帳簿 (チョウボ)

部首
簿 (19画)
たけかんむり

篤

篤 (16 strokes)

音
トク

篤学 (トクガク)
重篤 (ジュウトク)
危篤 (キトク)

部首
篤 (16画)
たけかんむり

粹

粹 (10 strokes)

訓
いき

音
スイ

粹人 (スイジン)
小粋 (コイキ)
抜粋 (バツスイ)

部首
粹 (10画)
こめへん

籍

籍 (20 strokes)

音
セキ

移籍 (イセキ)
書籍 (ショセキ)
国籍 (コクセキ)

部首
籍 (20画)
たけかんむり



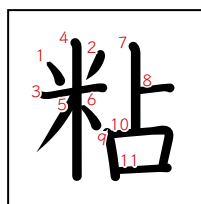


じゅん2きゅう 44かん たんい5 れんしゅ
う (2)

なまえ



粘



訓	音
ねば (る)	ネン

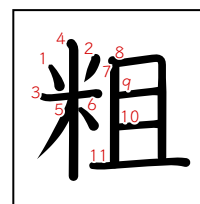
・粘 ねんまく
膜

・粘 ねんど
土

・粘 ねばる

部 首	こめへん	11 画
粘		

粗



訓	音
あら (い)	ソ

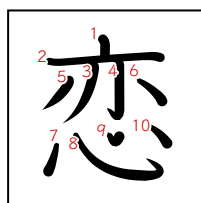
・粗 粗しな
品

・粗 粗まつ
末

・粗 粗い
あら

部 首	こめへん	11 画
粗		

恋



訓	音
こい (しい)	レン

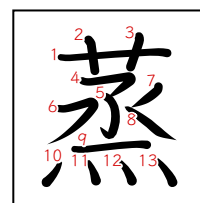
・失 失れん
恋

・恋 れんあい
愛

・初 はつこい
恋

部 首	こころ	10 画
恋		

蒸



訓	音
む (らす)	ジ ヨウ

・蒸 じょうりゅう
留

・蒸 じょうはつ
発

・蒸 じょうき
気

部 首	くさかんむり	13 画
蒸		





じゅん2きゅう 44かん たんい5 A

なまえ



/ 16

6

専門の

書

せき

を取り寄せる

5

重

とく

な副作用はまだ

4

やかんの口から

じょう

気
が出る

3

食べ物を

そ

末
にしない

2

日本の

国

せき

を取得する

1

元首相が

危

とく

と報じられる

12

初恋
を歌った曲が人気だ

11

打者がファウルで
粘る

10

小説の一部を
抜粋して載せる

9

経理担当が会社の
帳簿をつける

8

水たまりの水が

じょう

発
する

7

開店記念に来店者へ

そ

品
を配る

16

法務局で土地の
登記簿を調べる

15

ドラマで主役の
恋人を演じる

14

陶芸教室で
粘土をこねる

13

母が小粒な帽子をかぶって出かける





じゅん2きゅう 44かん たんい5 B

なまえ



/ 16

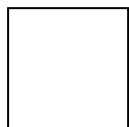
6

同窓会の

名^{めい}

を作る

5

愛^{あい}

を描いた映画を見る

4

初^{はつ}

を歌った曲が人気だ

3

陶芸教室で

土^ど

をこねる

2

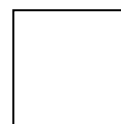
小説の一部を

抜^{ばつ}

して載せる

1

経理担当が会社の

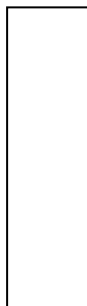
帳^{ちよう}

をつける

12

昔の機関車は 蒸^{じよう}気^きの力で走った

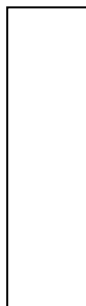
11

目の粗^こい^いざるで豆の水を切る

10

日本の国^{こく}籍^{せき}を取得する

9

元首相が危^き篤^{とく}と報じられる

8

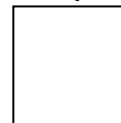
口の中の

膜^{まく}

をかんでしまう

7

祖父は町で

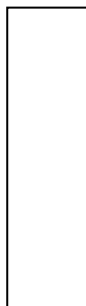
人^{じん}

として知られた

16

コップの水が 蒸^{じよう}発^{はつ}して少しへった

15

生まれた子を 戸^こ籍^{せき}に記載する

14

篤^{とく}志^し家の寄付で図書館が建った

13

食べ物を 粗^こ末^{まつ}にしない



じゅん2きゅう 44かん たんい6 れんしゅ
う (1)

なまえ



紛

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
紛

訓

音

まぎ フン
まぎ (れる)
まぎ (らす)
まぎ (らわす)
まぎ (らわしい)

・紛失 ふんしつ
・紛れる まぎれる
・紛らす まぎらす
・紛らす

部首

紛

いとへん

10画

糧

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18
糧

訓

音

かて ロウ リョウ
て ウ ヲウ

・糧道 りょうどう
・心の糧 こころのかて
・糧食 りょうしょく

部首

糧

こめへん

18画

絞

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
絞

訓

音

し コウ
し (める) ウ
し (まる) しば (る)

・絞める しめる
・絞首刑 こうしゅけい
・絞る しぼる

部首

絞

いとへん

12画

紺

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
紺

音

コン

・紫紺 しこん
・濃紺 のうこん
・紺紺 こん

部首

紺

いとへん

11画





じゅん2きゅう 44かん たんい6 れんしゅ
う (2)

なまえ



	音 トク		音 ハン		訓 音 つな コウ
	・秘匿 ひとく ・隠匿 いんとく ・匿名 とくめい		・農繁期 のうはんき ・繁華街 はんかがい ・繁栄 はんえい		・綱紀 こうき ・大綱 たいこう ・横綱 よこな

部首
かくしがまえ
10画

部首
いと
16画

部首
いとへん
14画



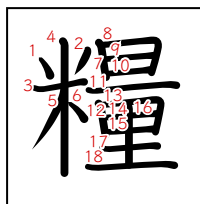


じゅん2きゅう 44かん たんい6 よみのれ
んしゅう2

なまえ



糧

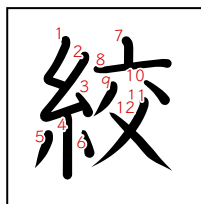


訓 音

かて ロウ リョウ
ウ

・ 糧道
リョウドウ
・ 心の糧
こころのかて
・ 糧食
リョウシキ

絞

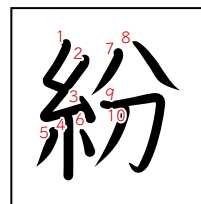


訓 音

し(まる) し(める) しぼ(る) コウ

・ 絞まる
しまる

紛



訓 音

まぎ(らわしい) まぎ(らわす) まぎ(れる) フン

・ 紛失
ふんしつ
・ 紛らわしい
まぎらわしい
・ 紛らわす
まぎらわす

部首 こめへん 18画
糧

部首 いとへん 12画
絞

部首 いとへん 10画
紛





じゅん2きゅう 44かん たんい6 A

なまえ



/ 14

5

ナスが

紫^し

に色づく

こん

4



とく

名^{めい}

でアンケートに答える

3

大関が

横^{よこ}

づな

に昇進した

2

就職活動で

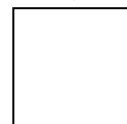
濃^{のう}

のスーツを着る

こん

1

登山隊が十日分の



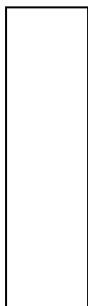
りよう

食^{しょく}

を運ぶ

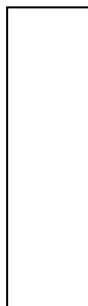
10

犯人が群衆に紛れ



9

この町は宿場町として繁



米した

8

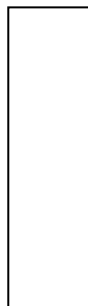
ぞうきんを固く絞



る

7

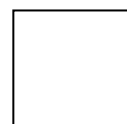
電車で定期券を紛失



する

6

政府が改革の

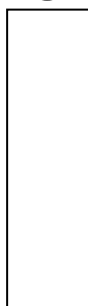
大^{たい}

こう

を決めた

14

サケは生まれた川に戻って繁殖する



13

過度な値下げは自分の首を絞める



る

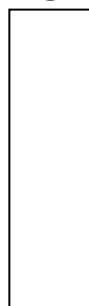
12

日本の法律は絞首刑による執行を定めている



11

紛らす





じゅん2きゅう 44かん たんい6 A-2

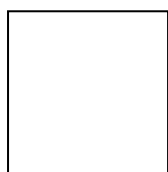
なまえ



/ 12

6

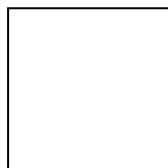
審議회가法案の

要^{よう}

をまとめる

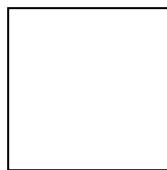
5

不正が続いた役所が

紀^き

を正す

4



こん

地^じ

に白い花柄の浴衣

3

秀吉は鳥取城の



りょう

道^{どう}

を断った

2

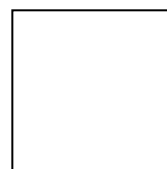
記者が取材源を

秘^ひ

する

1

差し押さえ前に財産を

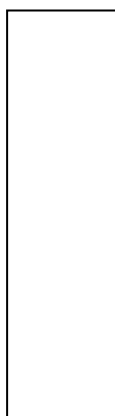
隠^{いん}

する

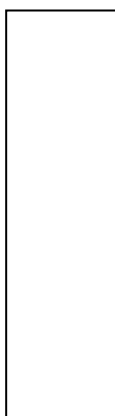
12

年末は宅配便の
繁忙期だ

11

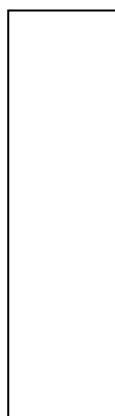
夏は雑草が
繁茂する

10

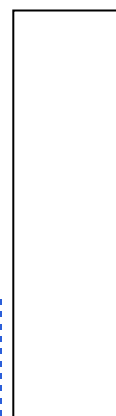
候補を三人に
絞り込む

9

絞まる



8

二つの薬は名前が
紛らわしい

7

冗談で不安を
紛らす



じゅん2きゅう 44かん たんい6 B

なまえ



/ 14

5

解決のために知恵を

しほる

4

国境をめぐる

ふん

争
そう
が続く

3

この町は宿場町として

はん

栄
えい
した

2

ぞうきんを固く

しほる

1

電車で定期券を

ふん

失
しつ
する

10

匿名でアンケートに答える

しほる

9

大関が横綱に昇進した

しほる

8

紺の表紙の手帳を使う

しほる

7

登山隊が十日分の糧食を運ぶ

しほる

6

都心の

はん

華街
か
がい
を歩く

14

夜明け前の空は深い紺色だ

しほる

13

インターネットの匿名性を悪用した書き込み

しほる

12

政府が改革の大綱を決めた

しほる

11

若いころに読んだ本が心の糧になった

しほる





じゅん2きゅう 44かん ふりかえり6 A

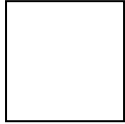
なまえ



/ 24

8

煙で



ちっ

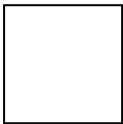
息

そく
しないよう低く逃げる

7

考え方が

幼



ち

だと言われる

6

練習で

基



そ

をしっかり固める

5

ジェンナーが

種

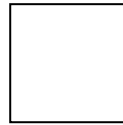


とう

を広めた

4

家



ちく

の伝染病が広がる

3

縄文人は

狩



りよう

と採集で暮らした

2

品質を

儀



せい

にして値段を下げる

1

洋館の居間で

暖

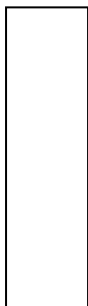


ろ

の火が燃える

16

事件もなく平穩な一日だった



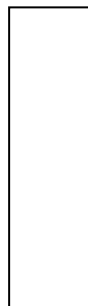
15

緊張して表情が硬い



14

船の甲板に出る



13

かぜをこじらせて肺炎になる



12

大関が

横



づな

に昇進した

11

登山隊が十日分の



りよう

を運ぶ

10

食べ物を



そ

にしない

9

元首相が

危

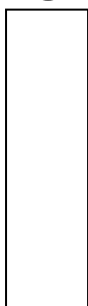


とく

と報じられる

24

匿名でアンケートに答える



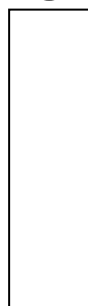
23

昔の機関車は蒸気力で走った



22

入学式の日に校庭の桜がさく



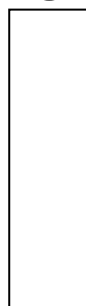
21

ピアノの練習で努力を重ねる



20

秋になると里の祭りでおみこしが出る



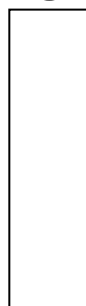
19

恐竜が栄えた白亜紀の地層を調べる



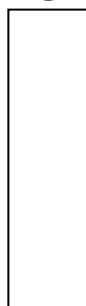
18

紺の表紙の手帳を使う



17

日本の国籍を取得する





じゅん2きゅう 44かん ふりかえり6 B

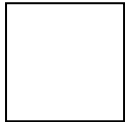
なまえ



/ 24

8

こおった道で足元に

意
する

7

ふとんに

日



を当ててぼす

6

ぞうきんを固く



5

小説の一部を

抜



して載せる

4

農家が田んぼの米を

収



する

3

古戦場の跡を

石



が伝える

2

湖



の家で小説を書く

1

議論の



点がずれる

16

新幹線が田園地帯を疾走する



15

温泉地の地獄めぐりを楽しむ



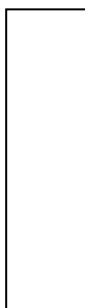
14

環境を犠牲にした開発を見直す



13

毎朝家族のご飯を炊く



12

ヒーローが手から



線を出す

11

初



を歌った曲が人気だ

10

銀行は



に守られている

9

アメリカの人と



で話す

24

この町は宿場町として繁栄した



23

電車で定期券を紛失する



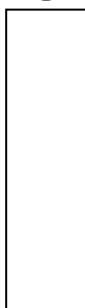
22

打者がファウルで粘る



21

経理担当が会社の帳簿をつける



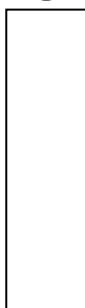
20

モールス符号で救助を求める



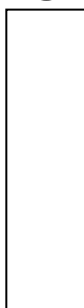
19

アワの穂を小鳥のえさにする



18

高齢者の福祉に力を入れる



17

お金に潔癖な政治家





じゅん2きゅう 44かん かん字のしくみ 1

なまえ



/ 18

6

犧

部首



5

牲

部首



4

焦

部首



3

炎

部首



2

炊

部首



1

炉

部首



12

疾

部首



11

畜

部首



10

畔

部首



9

甲

部首



8

獄

部首



7

狽

部首



18

祉

部首



17

礎

部首



16

碑

部首



15

硬

部首



14

癖

部首



13

痘

部首





じゅん2きゅう 44かん かん字のしくみ 2

なまえ



/ 17

6

符

部首



5

窒

部首



4

穫

部首



3

穩

部首



2

穂

部首



1

稚

部首



12

粘

部首



11

粗

部首



10

粹

部首



9

籍

部首



8

簿

部首



7

篤

部首



17

綱

部首



16

絞

部首



15

紺

部首



14

紛

部首



13

糧

部首





じゅん2きゅう 44かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24



次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

8	7	6	5	4	3	2	1
この発見が通信技術の礎 ^{いしづ} となった	寺の跡に礎 ^{いしづ} 石 ^{いし} だけが残っている	苦いころの放浪癖 ^{はうろうへき} が抜けない	父の口癖 ^{くへき} は早寝早起きだ	終盤の焦 ^{あせ} りからミスが続いた	戦争で町が焦土 ^{しょうど} と化した	鍋 ^{なべ} の残りのだして雑炊 ^{ざっぴ} を作る	昔は煮炊 ^{にち} き ^き にまきを使っていた

16	15	14	13	12	11	10	9
戦国の城は蔵に兵糧 ^{へいりやう} を蓄えた	若いころに読んだ本が心の糧 ^{りやう} になった	粘 ^ね り気のある納豆	はちみつは水より粘 ^ね 性 ^{せい} が高い	母が小粒 ^{せうりゅう} な帽子をかぶって出かける	祖父は町で粹 ^{すい} 人 ^{じん} として知られた	アワの穂 ^ほ を小鳥のえさにする	猛暑の影響で稲の出穂 ^{でっしゅ} が例年より早い

24	23	22	21	20	19	18	17
夜のまどから月光 ^{げっこう} がさしこむ	夏の夜にほたるが光 ^{ひかり} る	不正が続いた役所が綱紀 ^{きやうき} を正す	資金が尽きかけ綱渡 ^{きやうわたり} りの経営が続く	候補を三人に絞 ^{しぼ} り込む	日本の法律は絞首刑 ^{しやくしゅけい} による執行を定めている	苦し紛 ^{きず} れ ^れ の言い訳をする	電車で定期券を紛失 ^{きずし} する





じゅん2きゅう 44かん じゅくごのくみた
て

なまえ



/ 20

6

甲板

5

投獄

4

狩猟

3

犠牲

2

焦燥

1

暖炉

オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

未定

エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す

読書

ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す

急行

イ 反対の意味や対になる二字

左右

ア 意味の近い二字

温暖

二字の意味のつながりを考え、
合う説明の記号を書きましょう。

14

定礎

13

石碑

12

強硬

11

口癖

10

水痘

9

眼疾

8

畜舎

7

河畔

20

符号

19

収穫

18

穏便

17

稻穂

16

幼稚

15

福祉





じゅん2きゅう 44かん ぶんや れんしゅう

1

なまえ



幼	幼	大	大	暑	暑
	訓 おきな (い)		訓 おお (い)		訓 あつ (い)
	音 ヨウ		音 ダイ		音 ショ
	・幼 よう 少 しょう		・大 おお 雨 あめ		・暑 あつ さ あつさ
	・幼 よう 虫 ちゅう		・大 おお 空 から		・暑 しよ ちゅう
	・幼 よう 児 じ		・大 だい 学 がく		・暑 あつ さ
	部首 幼 いとがしら 5画		部首 大 だい 3画		部首 暑 ひ 12画

乙	乙	雑	雑	健	健
	音 オツ		音 ゾウ ザツ		訓 すこ (やか)
	・乙 おつ な もの		・雑 こん ざつ		・健 けん ぜん
	・乙 おつ 種 しゅ		・雑 ふく ざつ		・保 ほ けん
	・甲 こう 乙 おつ		・雑 ざつ 誌		・健 けん こう
	部首 乙 おつ 1画		部首 雑 ふるとり 14画		部首 健 にんべん 11画





じゅん2きゅう 44かん ぶんや れんしゅう
2

なまえ



力	力	合	合	危	危
	訓 音 ちから リ ヨク から キ ク		訓 音 あ あ カ ガ (わ) (わ) ッ ヲ (せ) (す) ウ		訓 音 あ あ あ キ や や ぶ (ぶ) (う) (ない)
	・力士 ・全力 ・体力		・合体 ・合図 ・合計		・危急 ・危害 ・危険
	部首 力 ちから 2画		部首 合 くち 6画		部首 危 ふしづくり 6画

観	観	基	基
	音 カン		訓 音 もと もと キ とい と
	・観客 ・観光 ・観察		・基準 ・基地 ・基本
	部首 観 みる 18画		部首 基 つち 11画





じゅん2きゅう 44かん はんたいとにたい
み

なまえ



/ 12

3

対

成熟

□
□

2

対

細目

□
□

1

対

厳寒

□
□

類
：類義語

対
：対義語

次の対義語・類義語を後の□の中から選
び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使
うこと。

えんしょ・たいこう・ようち

8

類

重体

□
□

7

類

優劣

□
□

6

対

簡略

□
□

5

対

精巧

□
□

4

対

強硬

□
□

おんけん・きとく・こうおつ・そざつ・はんざつ

12

類

遊覧

□
□

11

類

根本

□
□

10

類

精進

□
□

9

類

一致

□
□

かんこう・きそ・どりよく・ふごう





じゅん2きゅう 44かん よじじゅくご

なまえ

/ 14



読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましよう。

⑤

平

オン

無事

④

大声

シツ

呼

③

人

チク

無害

②

気

エン

万丈

①

夏

ロ

冬扇

⑩

一望千

リ

⑨

眼

コウ

紙背

⑧

紀肅正

コウ

⑦

製濫造

ソ

⑥

温厚

トク

実

⑭

商売

ハン

盛

⑬

正中立

ゲン

⑫

雄豪傑

エイ

⑪

奮闘

チカラ

力





じゅん2きゅう 44かん ごじをなおす

なまえ

/ 24



次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1 寺の香路から煙が立ち上る

誤

正

2 鍋の残りのだして雑吹を作る

誤

正

3 SNSの発言が沿上する

誤

正

4 議論の照点がずれる

誤

正

5 機誓打て勝ち越す

誤

正

6 ゾウの密察が後を絶たない

誤

正

7 思想家が極中で本を書いた

誤

正

8 館高い声で笑う

誤

正

9 セーヌの河版を散歩する

誤

正

10 冬に備えて蓄舎を修理する

誤

正

11 祖父は眼質のため運転をやめた

誤

正

12 子供のころに水討にかかった

誤

正

13 后球が当たって痛い

誤

正

14 古戦場の跡を石飛が伝える

誤

正

15 新しいビルの定粗の文字を見る

誤

正

16 高齢者の福語に力を入れる

誤

正

17 年を重ねても治気を失わない

誤

正

18 もめごとを恩便に消ませる

誤

正

19 村の収較祭に参加する

誤

正

20 モールス富号で救助を求める

誤

正

21 重督な副作用はまだ

誤

正

22 同窓会の名募を作る

誤

正

23 三年間吹奏楽部に在斥した

誤

正

24 人の恋路に口を出すのは無帥だ

誤

正





じゅん2きゅう 44かん ぶんや れんしゅう

1

なまえ



勝		猿		路															
	<table border="1"> <tr><th>訓</th><th>音</th></tr> <tr><td>まさ</td><td>か ショウ</td></tr> <tr><td>(る)</td><td>(三) ウ</td></tr> </table>	訓	音	まさ	か ショウ	(る)	(三) ウ		<table border="1"> <tr><th>訓</th><th>音</th></tr> <tr><td>さる</td><td>エン</td></tr> </table>	訓	音	さる	エン		<table border="1"> <tr><th>訓</th><th>音</th></tr> <tr><td>じ</td><td>ロ</td></tr> </table>	訓	音	じ	ロ
訓	音																		
まさ	か ショウ																		
(る)	(三) ウ																		
訓	音																		
さる	エン																		
訓	音																		
じ	ロ																		
	- 勝者 (しょうしゃ) - 勝負 (しょうぶ) - 決勝 (けつしょう)		- 犬猿 (けんえん) - 類人猿 (るいじんえん) - 猿人 (えんじん)		- 通路 (つうろ) - 線路 (せんろ) - 道路 (どうろ)														
	<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>12画</th></tr> <tr><td>勝</td><td>ちから</td></tr> </table>	部首	12画	勝	ちから		<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>13画</th></tr> <tr><td>猿</td><td>けものへん</td></tr> </table>	部首	13画	猿	けものへん		<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>13画</th></tr> <tr><td>路</td><td>あしへん</td></tr> </table>	部首	13画	路	あしへん		
部首	12画																		
勝	ちから																		
部首	13画																		
猿	けものへん																		
部首	13画																		
路	あしへん																		

石		療		姓													
	<table border="1"> <tr><th>訓</th><th>音</th></tr> <tr><td>いし</td><td>コク シャク セキ</td></tr> </table>	訓	音	いし	コク シャク セキ		<table border="1"> <tr><th>音</th></tr> <tr><td>リ ヨウ ウ</td></tr> </table>	音	リ ヨウ ウ		<table border="1"> <tr><th>音</th></tr> <tr><td>シ ヨウ セイ</td></tr> </table>	音	シ ヨウ セイ				
訓	音																
いし	コク シャク セキ																
音																	
リ ヨウ ウ																	
音																	
シ ヨウ セイ																	
	- 磁石 (じしやく) - 化石 (かせき) - 小石 (こいし)		- 療養 (りょうよう) - 医療 (いりよう) - 治療 (ちりよう)		- 同姓同名 (どうせいどうめい) - 旧姓 (きゅうせい) - 姓名 (せいめい)												
	<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>5画</th></tr> <tr><td>石</td><td>いし</td></tr> </table>	部首	5画	石	いし		<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>17画</th></tr> <tr><td>療</td><td>やまいだれ</td></tr> </table>	部首	17画	療	やまいだれ		<table border="1"> <tr><th>部首</th><th>8画</th></tr> <tr><td>姓</td><td>おんなへん</td></tr> </table>	部首	8画	姓	おんなへん
部首	5画																
石	いし																
部首	17画																
療	やまいだれ																
部首	8画																
姓	おんなへん																





じゅん2きゅう 44かん ぶんや れんしゅう
2

なまえ



竹		帆		缶	
	訓 たけ 音 チク		訓 ほ 音 ハン		音 カン
	・竹馬 たけうま ・青竹 あおたけ ・竹林 ちくりん		・帆柱 ほしら ・帆走 はんそう ・帆船 はんせん		・一斗缶 いっとかん ・製缶 せいかん ・缶詰 かんづめ
	部首 竹 たけ 6画		部首 帆 はば 6画		部首 缶 ほとぎ 6画

党		質	
	音 トウ		音 チ シ シツ
	・野党 やとう ・党首 とうしゅ ・政党 せいとう		・品質 ひんしつ ・質問 しつもん ・性質 せいしつ
	部首 党 ひとあし 10画		部首 質 かい 15画



じゅん2きゅう 44かん おなじおんのかん
じ

なまえ



/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

8 野球の大会で 決 ^{けつ} □ ^{ショウ} に進む	7 戦争で町が □ ^{ショウ} 土 ^ど と化した	6 ゴリラは 類 ^{るい} 人 ^{じん} □ ^{エン} だ	5 口 ^{こう} 内 ^{ない} □ ^{エン} ができて痛い	4 小説の一部を 抜 ^{ばつ} □ ^{スイ} して載せる	3 鍋 ^{なべ} の残りのだして 雑 ^{ぞう} □ ^{スイ} を作る	2 十 ^{じゅう} 字 ^じ □ ^ロ で信号 ^{しんごう} を待つ	1 点検 ^{けん} で 原 ^{げん} 子 ^し □ ^ロ を止める
16 非常用の □ ^{カン} 詰 ^{づめ} を備蓄する	15 □ ^{カン} 高 ^{だか} い 声で笑う	14 千 ^{せん} □ ^{ゴク} 船 ^{ぶね} で荷を運んだ	13 思想家が □ ^{ゴク} 中 ^{ちゅう} で本を書いた	12 新監督 ^{しんとく} の 荒 ^{あら} □ ^{リョウ} 治 ^じ が効く	11 縄文人は 狩 ^{しゅ} □ ^{リョウ} と採集で暮らした	10 自 ^じ 己 ^こ 儀 ^ぎ □ ^{セイ} に涙する	9 □ ^{セイ} 名 ^{めい} をローマ字で書く
24 子供のころに 水 ^{すい} □ ^{トウ} にかかった	23 議員が □ ^{トウ} 派 ^は をこえて協力する	22 祖父は 眼 ^{がん} □ ^{シツ} のため運転をやめた	21 水にとける 物 ^{ぶつ} □ ^{シツ} を調べる	20 □ ^{チク} 林 ^{りん} の中はひんやりしている	19 冬に備えて □ ^{チク} 舎 ^{しゃ} を修理する	18 セーヌの 河 ^か □ ^{ハン} を散歩する	17 大航海時代の □ ^{ハン} 船 ^{せん} が海を渡る

